

生物医学分野のジャーナルにおける supplement の被引用数に関する研究

小林 茉友香

生物医学分野の学術ジャーナルでは特定の病状や治療方法に関する論文を supplement として通常号と区別して発行する場合があります、医学雑誌編集者国際委員会は supplement とは関連する問題や話題を扱った論文集でジャーナルの別冊または通常号の一部として発行されるものと説明している。supplement は営利企業などがスポンサーとなり出版されることがあるが、その内容がスポンサーにとって有利なものである場合があります、利益相反行為に該当するのではないかと懸念されている。また通常号と査読プロセスが異なる supplement も存在していることが判明している。

しかし、通常号と supplement を比較した研究は 1 種類または少数のジャーナルを対象としたものにとどまっており、1 分野のジャーナル群全体を対象として通常号と supplement を比較した研究は行われていない。そこで本研究は、先行研究よりも広い範囲で調査を行うために生物医学分野内の循環器学カテゴリーに属するジャーナル群を対象として、supplement と通常号の違いを査読方針と引用のされ方の観点から明らかにすることを目的とする。

調査方法として、循環器学カテゴリーで supplement を発行しているジャーナル群における査読方針を調査し、査読方針が supplement と通常号で異なるジャーナルを特定する。加えて、査読方針が異なるジャーナルが発行している論文の被引用数とこれらの論文を引用している文献の分野情報を調査し、supplement と通常号の比較を行う。

その結果、査読方針については通常号と supplement で査読に関与する者が異なるために査読方針が異なるジャーナルが複数あり、supplement の論文はクオリティコントロールが弱く内容の質が低い可能性があることが示唆された。また、これらのジャーナルに掲載された論文の被引用数を調査した結果、supplement に掲載された論文は通常号に掲載された論文よりも頻繁に引用されていることが判明した。加えて、supplement の論文は通常号の論文よりも幅広い分野で引用されることが示された。

本研究では、先行研究よりも広い範囲で調査を行うことで分野全体における supplement の特徴を把握することが可能となり、論文のクオリティコントロールが弱いために内容の質が低い可能性のある supplement の論文が幅広い分野において引用されていることが明らかになった。今後の課題は、対象分野数を増やすことでより広範囲の分野における supplement の特徴を把握すること、本研究では着目しなかった論文の内容や supplement の発行頻度などにも着目することで supplement の他の問題点を明らかにすることである。

(指導教員 西川 開)